#### 2022 年度 授業計画(シラバス)

学	科	看護学科		科目区分	その他	授業の方法	講義
科目	名	在宅援助論Ⅲ		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象:	学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	2年生教室
担当	数 員	戸板宏一郎 日下部 麻美 三浦純子	実務経験と その関連資格	看護師として医療機関での臨床経験と看護基礎教育の経験を有する			

#### 《授業科目における学習内容》

在宅で療養する対象に応じた看護過程の展開を学ぶ。また、さまざまな在宅看護事例展開の実際を学ぶ。

### 《成績評価の方法と基準》

看護過程レポート 評価割合:(戸板50%、三浦30%、日下部20%)

# 《使用教材(教科書)及び参考図書》

統合分野 在宅看護論 医学書院

# 《授業外における学習方法》

シラバスに沿って次回授業についての予習を行い授業に臨む。授業後は配布資料や教科書での復習を行う。

### 《履修に当たっての留意点》

在宅での療養生活に対する理解を深め、療養者とその家族のイメージを膨らませながら学んでいきましょう

授業の 方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 1 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	在宅で療養する対象に応じた看護過程の展開方法が理解できる。	テキスト、資料	テキスト第7章のD認知 症の療養者に対する在 宅看護の事例展開を読 んでおく(30分) 授業の復習をする (30 分)
		各コマに おける 授業予定	認知症の療養者に対する在宅看護の事例展開① (担当:戸板)	プロジェクター	
第 2 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	在宅で療養する対象に応じた看護過程の展開方法が理解できる。	テキスト、資料	テキスト第7章のFALSの療養者に対する在宅看護の事例展開を読んでおく(30分) 実業の復習 ワークシートをまとめ提出する(30分)
		各コマに おける 授業予定	ALSの療養者に対する在宅看護の事例展開② (担当:戸板)	プロジェクター	
第	講義形式	授業を 通じての 到達目標	在宅で療養する対象に応じた看護過程の展開方法が理解できる。	テキスト、資料	テキスト第7章のI終末期 の療養者に対する在宅 看護の事例展開を読ん でおく(30分) 授業の復習をする(30 分)
3		各コマに おける 授業予定	終末期の療養者に対する在宅看護の事例展開③ (担当:三浦)	プロジェクター	
第	講義形式	授業を 通じての 到達目標	在宅で療養する対象に応じた看護過程の展開方法が理解できる。	テキスト、資料	テキスト第7章のGCOPD の療養者に対する在宅 看護の事例展開を読ん
4 □		各コマに おける 授業予定	CUFDの療食有に対する住宅有護の事例成開生		有護の事例展開を並ん でおく(30分) 授業の復習をする(30 分)
第	演習形式	授業を 通じての 到達目標	在宅で療養する対象に応じた看護過程の展開万法が理解できる。 在宅療養の事例に対し、必要な援助計画を立てることができ	テキスト、資料	事例を読み、情報の整理と アセスメント、全体像作成 に取り組む(30分) 授業の復習をする(30分)
5 □		各コマに おける 授業予定	紙上事例による在宅看護過程の展開 全体像の作成、看護問題抽出、目標・計画立案について学ぶ (担当:戸板)	プロジェクター	

授業の 方法			内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6 回	演習形式	授業をの 到達目標 各コママる お業 発	任宅で療養する対象に応じた看護過程の展開万法が埋解できる。 在宅療養の事例に対し、必要な援助計画を立てることができ 紙上事例による在宅看護過程の展開 全体像の作成、看護問題抽出、目標・計画立案について学ぶ (担当:戸板)	テキスト、資料	事例を読み、看護問題の 優先順位、目標、計画を考 える(30分) 授業の復習をする(30分)
第 7 回	講義演習形式	授業を 通じての 到達目標 各コマに おける 授業予定	在宅で療養する対象に応じた看護過程の展開方法が理解できる。 在宅療養の事例に対し、必要な援助計画を立てることができる。 さまざまな在宅看護事例展開の実際を学び、在宅看護の特徴が理解できる。 認知症、ALSの療養者に対する在宅看護の事例展開 (担当:戸板)	デキスト、資料 プロジェクター	資料の事例、認知症と ALS療養者を読んでお く(30分) 授業の復習をする (30 分)
第 8 回	講義演習形式	授業を 通じ目標 コマナラン 名おける 授業	さまざまな在宅看護事例展開の実際を学び、在宅看護の特徴が理解できる。 テキスプロジ 終末期、COPDの療養者に対する在宅看護の事例展開		資料の事例、終末期と COPDを読んでおく(30 分) 授業の復習をする (30 分)
第 9 回	講義演習形式	授業をの 到達目標 各コマける おけ予定	任宅で療養する対象に心じた看護過程の展開を進めるうえで 必要な 基礎知識を学ぶことが出来る 事前課題を活用し、在宅看護について特徴を学ぶ (担当:三浦)	テキスト、資料 自己学習ノート	事前課題とまとめる(30 分) 事前課題をまとめる(30 分)
第 10 回	講義演習形式	授業を 通じする 国達 名コマナラ 名おける 定	任宅で寮養する対象に応じた看護過程の展開を進めるつえで 必要な 基礎知識を学ぶことが出来る 事前課題を活用し、在宅看護について特徴を学ぶ (担当:戸板)	テキスト、資料 自己学習ノート	事前課題とまとめる(30分) 事前課題をまとめる(30分)
第 11 回	講義演習形式	授業を 通じ目標 各コマける お業予	在宅で療養する対象に応じた看護過程の展開を進めるうえで必要な 基礎知識を学ぶことが出来る 事前課題を活用し、在宅看護について特徴を学ぶ (担当:戸板)	テキスト、資料 自己学習ノート	事前課題とまとめる(30分) 事前課題をまとめ提出 する(30分)
第 12 回	講義演習形式	授業を 通じての標 各コマウ おけ予 授業	在宅で療養する対象に応じた看護過程の展開方法が理解できる。 在宅療養の事例に対し、必要な援助計画を立てることができる。 小児療養者に対する在宅看護の事例展開① (担当:日下部)	テキスト、資料 プロジェクター	テキスト第7章のE小児 の療養者に対する在宅 看護の事例展開を読ん でおく(30分) 授業の復習をする (30 分)
第 13 回	講義演習形式	授業を 通じする 日標 各コマける おけ予定	在宅で療養する対象に応じた看護過程の展開方法が理解できる。 在宅療養の事例に対し、必要な援助計画を立てることができる。 小児療養者に対する在宅看護の事例展開② (担当:日下部)	テキスト、資料 プロジェクター	テキスト第7章のE小児 の療養者に対する在宅 看護の事例展開を読ん でおく(30分) 授業の復習をする (30 分)
第 14 回	講義演習形式	授業を 通じ目標 各コマけ予 お業	在宅で療養する対象に応じた看護過程の展開方法が理解できる。 統合失調症の療養者に対する在宅看護の事例展開① (担当:戸板)	テキスト、資料 プロジェクター	テキスト第7章のJ統合失調症の療養者に対する 在宅看護の事例展開を 読んでおく(30分) 授業の復習をする (30分)
第 15 回	講義演習形式	授業を 通じての標 予に をコマトる 授業予定	在宅で療養する対象に応じた看護過程の展開方法が理解できる。 在宅療養の事例に対し、必要な援助計画を立てることができる。 さまざまな在宅看護事例展開の実際を学び、在宅看護の特徴が理解できる。 統合失調症の療養者に対する在宅看護の事例展開② (担当:戸板)	テキスト、資料 プロジェクター	テキスト第7章のJ統合失調症の療養者に対する 在宅看護の事例展開を 読んでおく(30分) 授業の復習をする (30分)